

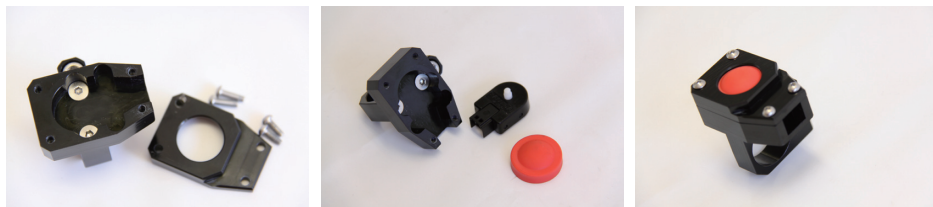
<⑤スイッチボタンケース(START/STOPボタン)>

手順1) START/STOPスイッチを取り出す。

※Xシリーズ以外のモデルはハンドルカバーを分解する必要があります。

手順2) ケースにSTART/STOPスイッチを組み付け

※組み付け前に本体とクランプ部品のネジが確実に締まっていることを必ず確認して下さい。



■本製品構造上の注意

製造過程時にできる切断面、着色ムラが生じますご了承下さい。
これらの内容につきましては、走行性能に問題はありませんので、クレーム対象外とさせていただきます。



■取付後の点検

取付後10時間毎に、各部のボルトの緩み等を必ず点検して下さい。



UNLIMITED

三重県四日市市羽津919-2 〒510-0012
[代表]059-365-1002 [FAX]059-364-4175
E-mail info@unlimited.pwc.com

取扱説明書

UL36000
(全4色)

UNLIMITED
Personal Watercraft Performance Products

iTC/iBRビレットスイッチケースキット



お買い上げありがとうございます。
安全にご使用いただくために、注意事項を必ずご確認ください。

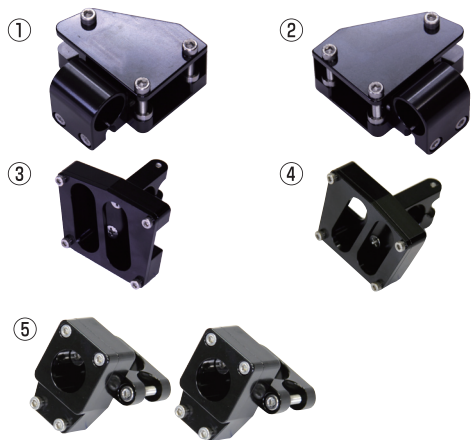
【UL36000】iTC/iBRビレットスイッチケースキット(全4色)

SEA-DOO / 2009~

iTC(電子スロットル)/iBR(ブレーキ)装備モデル(※2018年モデル除く)

取扱説明書(必ずお読み下さい)

■構成部品内容



①	iBRレバーケース(左) [UL36003]	×1
②	iTCレバーケース(右) [UL36004]	×1
③	VTSモードボタンケース(左) [UL36005]	×1
④	MODE-SETボタンケース(右) [UL36006]	×1
⑤	スイッチボタンケース [UL36002]	×2

※モデルによっては使用しない部品も含まれております。

■取付作業の注意事項

取り付けはメーカー発行のサービスマニュアルに基づき、
確かな知識及び技術を持ったメカニックで行なって下さい。

この製品は競技用目的に企画・製作されているため、艇体・機関等へのクレーム保証はございませんので
ご注意ください。

- 1) 目的にあった正しい取り付け、関連法令を遵守の上ご使用下さい。
- 2) 上記を外れたその他の使用においては、商品の品質は保証することは出来ません。
- 3) 製品には、鋭利な箇所があるため防具を使用して取り付けを行なって下さい。

取付前

- 4) 製品パーツの取り付けネジが十分に締め付けられていることを確認して下さい。
確実な締め付けをせずに取り付け作業をすると使用時に重大な事故に繋がりますのでご注意ください。
★参考標準締め付けトルク(M6 : 2.6N・m / M8 : 6.2N・m)
- 5) エンジン停止後バッテリーを取り外し、エンジンが始動しない状態かを確認の上、作業を行なって下さい。

取付後

- 6) 必ず陸上でウォータークラフトの動作に問題が無いかを確認した上で使用し、
問題が発見された場合は、直ちにウォータークラフトの使用を中止し、問題改善を行なって下さい。

■取付作業方法

! 各モデルのサービスマニュアルを参照して下さい。

※全ての作業については適正な工具をご使用下さい。
適切な設備がない、又は機械の取り付けに熟知していない場合は必ず経験・知識のある販売店、
又はPWC専門店に相談し、作業の依頼をして下さい。
※ネジ留め時は、パワーツールは使用せず焼きつき防止のグリスを塗布し少しずつ締め込んで下さい。

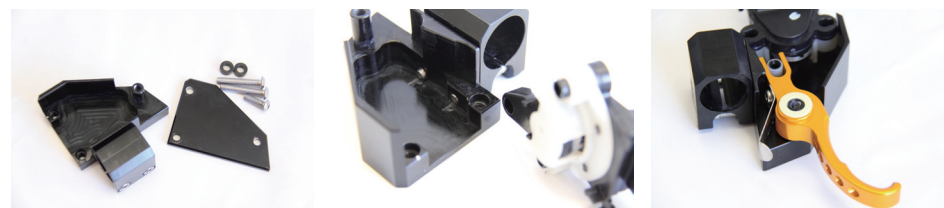
<①②iTC/iBRレバーケース>

手順1) 純正スロットルセンサーを取り外す。

※Xシリーズ以外のモデルはハンドルカバーを分解する必要があります。

手順2) ビレットケースにセンサーとレバーを組み付け。

※【UL33002】iTC/iBRレバー使用時、レバーのスプリングプレートがハンドルバーに食い込み、
レバーが戻らなくなる可能性がある為、スプリングプレートへ必ずグリスアップを行なって下さい。



手順3) トッププレートの取り付け

※センサー、レバーを組み込んだ後、カラーを使用して取り付けして下さい。

☆ブレーキレバーも同様の作業にて取り付け。



<③④VTS/MODE-SETボタンケース>

手順1) 純正MODEスイッチを取り出す。

※Xシリーズ以外のモデルはハンドルカバーを分解する必要があります。

手順2) ビレットケースにMODEスイッチを組み付け

※トッププレートを取り付け時にラバー部分を挟まないように気をつけて下さい。

※組み付け前に本体とクランプ部品のネジが確実に締まっていることを必ず確認して下さい。

☆VTSボタンも同様の作業にて取り付け。

